

## 廃棄物・リサイクル対策部 企画課

## 1. 事業の概要

3 R (リデュース、リユース、リサイクル) イニシアティブの推進について、G 8 北海道洞爺湖サミットにおいても議論される予定であり、会議の合意を受けて3 Rの取組をさらに推進していく。

- . アジア各国の3 R推進のための政策対話・計画/ビジョン策定支援協力  
アジア各国において3 Rを推進するための計画/ビジョンの策定を支援する。また、東アジアにおける3 R政策対話を実施する。
- . (新) アジアにおける廃棄物・3 R作業部会の運営  
UNEPとWHOが事務局となる「南東・東アジア環境と保健に関する地域フォーラム」の下に設置される廃棄物作業部会について、議長国として運営を行う。この作業部会が東アジアにおける3 R政策対話の場となる。
- . 3 Rに関する技術移転の推進  
UNEPやアジア開発銀行などによりアジア工科大学に構築された3 Rナレッジハブ(情報拠点)について、日本の3 R・廃棄物処理の制度・技術・経験をベースにしたコンテンツの提供を行う。
- . アジア資源循環研究推進事業  
アジアにおける3 R・廃棄物管理の研究者・専門家間での連携を目的とした研究ネットワークを形成する。  
また、UNEPが設立する「天然資源の持続可能な利用に関する国際パネル」について、我が国の3 R政策等に関する知見をとりまとめ、国際的な議論の活性化に貢献する。
- . (新) ゴミゼロ国際化行動計画の見直しと実施  
G 8 環境大臣会合及びG 8 北海道洞爺湖サミットにおいて、3 R イニシアティブについても議論される予定であり、これらの会合での合意を受け、「ゴミゼロ国際化行動計画」を見直すとともに実施に移す。
- . (新) G 8 環境大臣会合時の3 Rサイドイベントの開催  
サイドイベントを通じて日本の3 R・廃棄物管理の制度・技術・経験を紹介し、国際展開を図る。

## 2. 事業計画

	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	事前調査	政策対話	計画策定		
		事前調査	政策対話	計画策定	
			政策対話の実施		
				廃棄物・3R作業部会の運営	
	データベース作成		データベースの管理		
		研究ネットワークの形成			
				持続可能な資源利用に関する国際パネル	
				G8環境大臣会合 G8サミット	フォローアップ
				サイドイベント開催	

## 3. 施策の効果

G8サミット等での3R推進についての議論でリーダーシップを発揮  
 政策担当者レベル、研究者レベルでのアジア各国間の連携の強化  
 3Rに関する国際的な研究の推進による科学的基盤の強化  
 我が国の先進的な3R技術・システムの国際的な展開

## 4. 備考

- ・アジア各国の3R推進のための政策対話・計画/ビジョン策定支援・協力 47,390千円
- ・アジアにおける廃棄物・3R作業部会の運営 15,351千円
- ・3Rに関する技術移転の推進 19,544千円
- ・アジア資源循環研究推進事業 25,798千円
- ・ゴミゼロ国際化行動計画の見直しと実施 7,023千円
- ・G8環境大臣会合時の3Rサイドイベントの開催 7,844千円

## 3 R イニシアティブ国際推進費

### 課題

- ・ 廃棄物の発生が増大と質の多様化による不適正な処理
- ・ 循環資源の越境移動の活発化による国内外の廃棄物処理・リサイクルシステムへの影響
- ・ 資源価格の高騰

### 基本的な考え方

国際的な循環型社会を構築するために、

まず各国の国内で循環型社会を構築し、  
廃棄物の不法な輸出入を防止する取組を充実・強化し

その上で循環資源の輸出入の円滑化を図ることが必要。

G8北海道洞爺湖サミットでの議論・合意を受けて、3 Rの取組をさらに推進。

### 具体的な取組

- ・ アジア各国における3 R推進計画/ビジョンの策定支援
- ・ 東アジアにおける3 Rに関する政策対話の実施

- ・ アジアにおける廃棄物・3 R作業部会の運営

- ・ 3 R技術・システムに関する情報拠点の構築

- ・ 3 Rに関する研究者・専門家のネットワーク形成
- ・ 持続可能な資源の利用に関する国際パネルへの対応

- ・ バーゼル条約を基盤とした、廃棄物の不法な輸出入の防止対策（別掲）

- ・ 「ゴミゼロ国際化行動計画」の見直しと実施

- ・ G8環境大臣会合での3 Rサイドイベント

# 国際循環型社会の構築に向けたスケジュール

